S級出場予定選手

（データは11月24日現在）

地区	選手名	期別(出身)	班別	脚質	直近4ヵ月	B回数	逃げ	捲り	差し	マーク
北日本	佐藤慎太郎	78期(福島)	S1	差	109.32	0	0	0	4	6
	伊藤　大志	86期(青森)	S1	差	103.83	0	0	0	2	3
	小松崎大地	99期(福島)	S1	先捲	112.48	19	9	5	0	0
	齋藤　明	61期(北海)	S2	差	93.62	0	0	0	1	1
	大森　慶一	88期(北海)	S2	差	100.65	1	0	1	5	2
	安部　貴之	92期(宮城)	S2	自在	106.75	3	0	7	4	1
	佐藤　和也	95期(青森)	S2	自在	102.53	5	1	3	2	2
	稲田　優樹	98期(青森)	S2	先捲	97.86	17	3	3	0	0
	櫻井　正孝	100期(宮城)	S2	先捲	104.88	12	8	6	1	0
関東	幸田　光博	67期(栃木)	S1	差	101.63	0	0	1	4	2
	阿部　康雄	68期(新潟)	S1	差	101.54	0	0	0	9	3
	稲村　成浩	69期(群馬)	S1	差	111.00	0	0	1	8	4
	宗景　祐樹	84期(栃木)	S1	差	108.32	0	0	0	4	5
	芦澤　大輔	90期(茨城)	S1	自在	106.06	3	0	4	2	0
	矢野　昌彦	91期(栃木)	S1	先捲	110.78	11	6	4	2	2
	小橋　正義	59期(新潟)	S2	差	98.96	0	0	0	1	1
	須藤　直道	68期(群馬)	S2	差	92.70	0	0	0	1	1
	伊藤　一貴	72期(栃木)	S2	差	99.41	0	0	0	0	1
	鈴木　孝征	75期(埼玉)	S2	差	99.30	1	0	1	2	2
	飯嶋　則之	81期(栃木)	S2	差	111.51	0	0	0	13	4
	市川　健太	82期(東京)	S2	自在	94.48	6	0	3	1	0
	小宮　剛	82期(東京)	S2	差	102.00	0	0	0	4	2
	山田　義彦	92期(埼玉)	S2	先捲	105.16	16	11	7	0	0
	杉本　正隆	96期(茨城)	S2	自在	104.75	2	0	7	3	1
	城　幸弘	96期(山梨)	S2	捲先	105.61	10	3	8	0	1
南関東	和泉田喜一	59期(千葉)	S1	差	100.24	0	0	0	3	4
	高木　隆弘	64期(神奈)	S1	差	105.16	0	0	0	4	1
	土屋　裕二	81期(静岡)	S1	差	106.34	0	0	0	6	1
	松坂　洋平	89期(神奈)	S1	先捲	105.66	8	4	5	0	0
	鈴木　裕	92期(千葉)	S1	先捲	101.93	13	5	3	1	0
	江守　昇	73期(千葉)	S2	差	103.56	0	0	0	3	7
	山口　浩	74期(神奈)	S2	差	107.30	0	0	0	4	4
	山田　幸司	78期(神奈)	S2	差	104.03	0	0	0	6	4
	平田　徹	78期(静岡)	S2	差	97.82	0	0	0	0	2
	須藤　誠	92期(千葉)	S2	差	99.92	1	0	0	4	2
	柴田　竜史	96期(静岡)	S2	捲先	99.89	6	1	7	3	1
	和田真久留	99期(神奈)	S2	先捲	104.83	11	5	9	1	0
中部	島野　浩司	62期(愛知)	S1	差	101.34	0	0	0	3	5
	山口　富生	68期(岐阜)	S1	差	103.77	0	0	0	2	0
	永井　清史	88期(岐阜)	S1	先捲	101.73	20	4	1	0	0
	大庭　正紀	70期(富山)	S2	差	101.89	0	0	0	5	2
	岩本　和也	76期(石川)	S2	差	106.55	0	0	0	12	2
	小西　誠也	80期(三重)	S2	差	96.56	0	0	0	3	0
	坂上　樹大	80期(石川)	S2	差	99.43	0	0	0	5	0
	原　真司	86期(岐阜)	S2	差	101.30	0	0	0	5	0
	外山　三平	88期(愛知)	S2	自在	99.05	0	0	1	8	2
	大谷　靖茂	93期(愛知)	S2	捲先	100.31	9	2	6	1	0
	伊藤　裕貴	100期(三重)	S2	先捲	103.36	17	7	5	0	0
近畿	澤田　義和	69期(兵庫)	S1	差	104.03	0	0	0	4	4
	稲垣　裕之	86期(京都)	S1	先捲	115.69	13	8	13	2	0
	南　修二	88期(大阪)	S1	差	111.94	0	0	1	4	4
	渡邉　泰夫	62期(大阪)	S2	差	96.60	0	0	0	1	1
	池田　智毅	68期(和歌)	S2	差	98.73	0	0	0	0	2
	金山　栄治	72期(滋賀)	S2	先捲	96.57	15	3	2	2	0
	北川　紋部	78期(福井)	S2	差	102.42	0	0	0	5	3
	伊原　弘幸	90期(福井)	S2	自在	93.35	2	1	1	2	2
	村田　雅一	90期(兵庫)	S2	差	98.13	0	0	1	1	2
	奥平　充男	93期(京都)	S2	先捲	93.33	8	2	2	0	0
	藤田　勝也	94期(和歌)	S2	先捲	100.70	20	5	2	0	0
	黒川　茂高	97期(滋賀)	S2	先捲	98.58	18	2	4	0	0
	神田　紘輔	100期(大阪)	S2	自在	98.17	5	1	0	5	2
中国	前反祐一郎	81期(広島)	S1	差	105.08	0	0	0	3	2
	筒井　敦史	85期(岡山)	S1	差	109.14	1	0	1	5	1
	白井圭一郎	61期(山口)	S2	差	95.82	0	0	0	1	1
	富　弥昭	76期(山口)	S2	差捲	100.20	1	0	1	4	2
	古城　英之	78期(広島)	S2	差	97.36	0	0	0	1	1
	三宅　旬	80期(岡山)	S2	差	94.06	0	0	0	0	3
	高津　晃治	87期(岡山)	S2	差	94.29	0	0	0	0	1
	河端　朋之	95期(岡山)	S2	先捲	104.86	22	4	6	0	0
	才迫　開	101期(広島)	S2	先捲	97.23	10	4	2	0	0
四国	室井　健一	69期(徳島)	S1	差	106.40	0	0	1	6	1
	原田研太朗	98期(徳島)	S1	先捲	108.48	10	3	10	0	1
	米澤　大輔	73期(徳島)	S2	差	104.17	0	0	0	3	3
	田村　浩章	82期(徳島)	S2	差	98.00	0	0	0	0	2
	溪　飛雄馬	86期(愛媛)	S2	差	101.88	0	0	0	1	3
	越智　展孝	88期(愛媛)	S2	先捲	98.18	6	4	2	1	1
	網谷　竜次	91期(香川)	S2	差捲	100.72	0	0	4	5	2
	戸田　康平	101期(香川)	S2	先捲	92.25	19	11	3	0	0
九州	荒井　崇博	82期(佐賀)	S1	自在	109.70	0	0	5	6	2
	坂本健太郎	86期(福岡)	S1	自在	99.39	4	1	3	1	0
	馬場　勇	92期(熊本)	S1	差	103.40	0	0	0	7	0
	山崎　岳志	74期(佐賀)	S2	差	94.88	0	0	0	1	0
	高木　和仁	76期(福岡)	S2	差	101.85	0	0	0	4	0
	山口　貴嗣	82期(福岡)	S2	差	102.33	0	0	0	4	1
	藤田　剣次	85期(福岡)	S2	差	98.81	1	0	1	4	1
	良永　浩一	86期(福岡)	S2	差	98.50	0	0	0	2	2
	中村　圭志	86期(熊本)	S2	差	101.34	0	0	0	5	1
	中村　雅仁	90期(熊本)	S2	捲先	98.71	5	1	4	2	0
	宮本　龍一	92期(福岡)	S2	先捲	91.31	13	3	0	0	0
	成松　春樹	93期(佐賀)	S2	先捲	91.90	11	1	0	0	0

寺内大吉杯

グランプリシリーズのオールS級戦だけあってグレードレースばりの豪華なメンバー構成となった。シリーズをリードするのは地元近畿勢。主役を担うのは**稲垣裕之**、G1戦でも活躍する快速先行選手で9月FI川崎、10月FI青森、FI函館で3場所連続V。準決10月G1競輪祭でも堂々の勝ち上りで決勝進出するなどI枚抜けた存在。自慢のスピードを発揮して V奪取と行こう。地元の気迫を見せるのが**南修二**。8月FI岐阜で1V、1月の当所FI戦でもVを飾るなど無双の勝負強さを発揮しており稲垣を目標に逆転を目指す。他にも**藤田勝也**、**黒川茂高**、**神田紘輔**、**金山栄治**ら機動力型に、**澤田義和**、**北川紋部**らがマーク陣で強力ラインを形成する。

層の厚いのが関東勢。9月FI平塚でV、10月GIII松山で決勝進出と躍進する強力機動型に、**澤田義和**、**北川紋部**らがマーク陣で強力ライン**昌彦**を筆頭に、スピード鋭い**城幸弘**、**山田義彦**、強気に活発な攻めをする**芦澤大輔**らを10月GIII熊本で久々のGIIIV を飾った**飯嶋則之**に、位置取り厳しい**宗景祐樹**、自慢の先行を駆使して別線を完封するが。近況派手な戦歴の無い**佐藤慎太郎**がどんなレースの読みは的確なだけに小松崎と北日本の機動力型を目標に抜け出しを図る。9月FI富山で完全V と動きの冴える**安部貴之**に上昇気配の**櫻井正孝**、戦法に幅ある**佐藤和也**、差脚堅実な**伊藤大志**らも目が離せない。

力で対抗するのが四国の**原田研太朗**、モロさも同居するが自己のタイミングで仕掛けた時のスピードは一級品。同県**室井健一**や**米澤大輔**らのアシスト受け豪快な走りでV争いに加わる。

南関勢も侮れない。長期欠場も6月FI富山、8月FI高松でV、破壊力十分な**松坂洋平**にカマシ、捲り強烈な**和田真久留**、出切れば大いに**鈴木裕**ら機動型をマーク堅実な**戸田康平**、10月FI京王閣でV を挙げた**土屋裕二**に古参、**高木隆弘**に**山田幸司**、**江守昇**、**和泉田喜一**らで連係上位進出を狙う。

中部勢も軽視は禁物。中部の重鎮、**山口富生**を司令塔に先導役を務めるのは上昇株、**伊藤裕貴**に出切れば強襲する**永井清史**、回転威力ある**大谷靖茂**、マーク型**岩本和也**、**大庭正紀**、**原真司**らも目が離せない存在だ。

九州勢は10月GIII千葉で決勝進出、そして競輪祭で準決に駒を進め存在感を示した**荒井崇博**を中心に**山口貴嗣**、**馬場勇**、**高木和仁**、**坂本健太郎**らで見せ場を作って行く。

中国勢ではタテ脚鋭い**筒井敦史**や**前反祐一郎**らが世界の舞台でも戦うスプリンター**河端朋之**を目標に抜出しを図る。

稲垣 裕之

南 修二

原田 研太朗

小松崎 大地

飯嶋 則之

佐藤 慎太郎

荒井 崇博

松坂 洋平

『寺内大吉記念杯競輪（FI・S級戦）』概定番組表

第1日	第2日	第3日
初特選 1	準決勝 3（初特選 1〜9位(9)／予選 1〜2位(18)）	決勝 1（準決勝 1〜3位(9)）
	選抜 3（予選 3〜5位(27)）	特選 3（準決勝 4〜9位(18)／選抜 1〜3位(9)）
予選 9		選抜 3（選抜 4〜9位(18)／一般 1〜2位(6)／3位(1)）
	一般 4（予選 6〜9位(36)）	一般 3（一般 3位(3)／4〜9位(24)）

1、2着決まり手

［期間100 400］2013年11月1日〜2014年11月9日 612R

	先行	捲り	差し	マーク
1着	137回	213回	265回	0回
	22.3%	34.6%	43.1%	0.0%
2着	104回	104回	156回	246回
	17.1%	17.1%	25.6%	40.3%

上がりタイム

	レース数	最高	平均
S級	120	10.3	11.5
A級	492	11.0	12.1

バンクデータ

周長	400m
長軸	158.6m
短軸	76.486m
曲率半径	35.8m
直線	
ホーム	31.286m
バック	31.286m
緩和曲線	
第1角	60m
第2角	60m
第3角	60m
第4角	60m
円曲線	
第1センター	48.714m
第2センター	48.714m
幅員	
ホーム	10.2m
バック	10.2m
センター	7.4m
退避路	1.8m
傾斜角	
ホーム	2°51'45"
センター	30°56'00"
みなし直線	56.7m

バンク情報

通常バックで追い風。そのためか2コーナーからの捲り、追込みが良く決まる感がある。

ちなみにホームで追い風になった時は、雨が降る予兆。普段は浜風で、天候が悪くなるときは、山からの風に変わる。

第30回 KEIRINグランプリ2014

■2013年(H25.12.30) 立川
■2012年(H24.12.30) 京王閣
■2011年(H23.12.30) 平塚

優勝	2着	3着
金子貴志	浅井康太	長塚智広
村上義弘	成田和也	浅井康太
山口幸二	武田豊樹	浅井康太

今年最後の大一番、第30回KEIRINグランプリ2014が、12月30日、岸和田競輪場で行われる。初の西日本地区での開催で今年の競輪界を代表するベストナインが激突する。

機気鋭な争いが予想されるが初の地元地区の開催で気合いのある**村上義弘**、**村上博幸**、**稲川翔**の近畿トリオがリードする。昨年の大会では単騎戦ながら魂の走りで初のグランプリ制覇を果たしファンに感動を与えた**村上義弘**自慢欠場後も8月GIII向日町でV と逆境を力に変える精神力の強さは見事の一言。今年もファン、そして自分自身の為に強い思いでレースに挑む。

昨年の大げがにも負けず2月GI全日本選抜競輪を制し4年振りとなるグランプリ出場を決めた**村上博幸**。2010年の同大会では兄、**義弘**を目標に初出場して初の栄冠に輝くなど抜群の勝負強さを見せた。今回も義弘との絶好のコンビネーションプレーで2度目のVを狙おう。

ホームバンクで歩のグランプリ出場を果たした**稲川翔**。10月GIII千葉で落車し左鎖骨を骨折、大会本番は急遽プレーが入ったまま走る事になろうが、縦横無尽に繰り広げるレースタイルは定評ある。村上兄弟との前後は微妙も唯一の地元代表選手として夢の大舞台で気迫を見せつける。

近畿勢の最大の脅威となるのが**武田豊樹**。様々な逆風にも負けず9月GIオールスターでは3の力を借り2年振りのGIVを飾ると共に2年振り6度目のグランプリ出場を決めた。競輪界屈指のパワーを誇り3月GI日本選手権決勝では村上義弘らと好勝負を演じファンの感動を呼んだ。2009年、2011年は2着と歩のところで栄冠を逃しているだけに今度こそ頂点に立つか。

11月GI競輪祭でVを飾りグランプリの出場権をゲットした**平原康多**。初日から自力基本のレースで戦うも、決勝は関東ライン4車の厚みを生かしての番手戦。先行する武田豊樹を援護しつつ別線勢の反撃をけん制、続く神山雄一郎とワンツーライン で表彰台を独占する大活躍。持ち前のスピード、ダッシュは抜群で、これまでの武田との連係実績を考えるとV の可能性は大で、どちらが前でもレースを支配しそうだ。

武田、平原をアシストするのが稲村成浩。ただ衰えるを知らない差し脚と強い精神力で11GIII高松宮杯のV で記念最年長優勝記録を更新するなど気迫一杯、数々のGIタイトルを獲得しグランドスラムも達成した競輪界のレジェンドが残る唯一のタイトル、グランプリV へ向け全身全霊を傾けて戦い抜く。

近畿勢、関東勢に力で立ち向かうのが、**深谷知広**、**浅井康太**の中部コンビ。圧倒的な強さで7月GI寛仁親王牌を制した深谷だが、9月GIオールスターで落車し、その後の開催を欠場。このレースが復帰戦となりそうだが、昨年は果敢な先行でレースを盛り上げた深谷だけに万全の態に仕上げ先行台でスピードを活かしたレースに終始。2月GI全日本選抜、6月GI高松宮記念杯、7月GI寛仁親王牌、9月GIオールスター、11月GI競輪祭で決勝進出とグレード戦を盛り上げた立役者、強烈なスピードに加え番手戦もしっかりとなる浅井、2011年、2012年同様に深谷の前回りが濃厚だが、その時は2着続けて3着。昨年は2着との一歩で栄冠を逃しているだけに今年こそ総力を結集し表彰台の真ん中に立つか。

初の大舞台に向け最後迄グランプリ出場権争いで気迫を見せ続けた**岩津裕介**。圧巻は10月GIII防府決勝、一瞬の判断力を生かし空いたコースを突いてVを奪取、賞金ランクをアップさせグランプリの切符を手につかむ。昨年は地区から唯一の出場だけに本番では位置取りが注目されようが、混戦には強いタイプだけに期待を突いて初出場にして偉業達成のシーンも。

抜群のスピードにパワーも申し分なく、今年は昨年を上回るV 9を決め、勝率も67%をマークした。大舞台での実績こそ無いものの小林や加瀬に果敢に挑む姿勢は評価できる。

9月西武園決勝でV候補の小林に唯一の黒星を付けたのが**梶田舞**。先行勝負こそ影を潜めた感もあるがタテの攻撃力は迫力十分だけに警戒したい一人だ。

3大会連続出場を決めた102期の3選手も意地を見せる。第1回は果敢な先行勝負、第2回は捲りで準V と大会を盛り上げた**加瀬加奈子**、自分の信条を貫き今回も力強いまりでファンを沸かせてくれよう。

昨年の覇者、**中村由香里**、近況は落車も続き今ひとつ精彩欠くも、卓越したレース運びは定評あり今年前半はV を量産するなどガールズ随一の勝負強さを持つ。連覇のかかる今回も態勢を整え挑む。

先行、捲り、追込みと多彩な戦法で安定感十分な**中川諒子**。前回は抜群な先行勝負を演じるなど帝に攻める姿勢は好感が持てる。底力も十分あるだけに3度目の正直とばかりグランプリ初V を狙う。

同期コンビにも負けない、共に武田豊樹を師匠に持つ両者だけに気心の知れた同門強敵な先行力が魅力で8月GIII富山、10月GIII熊本でも奮闘、仮に単騎となれば脚をタメての一発にかけるか。野原以外の8名が101期の同期対決となる今回の一戦、自熱したレースが繰り広げられそうだ。

KEIRINグランプリ 直接対戦表

	深谷	武田	浅井	平原	村上	神山	岩津	稲川	村上
深谷知広		2−1	8−4	3−6	2−4	3−6	2−5	7−2	6−1
武田豊樹	1−2		5−2	9−1	3−4	7−7	4−0	3−0	3−0
浅井康太	4−8	2−5		9−2	4−6	8−6	5−8	6−2	2−2
平原康多	6−3	1−9	2−9		5−5	7−7	3−4	3−2	5−4
村上義弘	4−2	4−3	6−4	5−5		3−4	2−4	3−0	1−0
神山雄一	6−3	7−7	6−8	7−7	4−3		5−2	1−2	2−1
岩津裕介	5−2	0−4	8−5	4−3	4−2	2−5		4−4	0−1
稲川　翔	2−7	0−3	2−6	2−3	0−3	2−1	4−4		1−6
村上博幸	1−6	0−3	2−2	4−5	0−1	1−2	1−0	6−1	

（左先着−右後着）

KEIRINグランプリメンバー（データは11/24現在）

当所成績（岸和田 2000年1月以降）

選手名	選歴	脚質	直近得点	直近4場所成績	1着所数	2着所数	3着所数	4着所数	5着所数	6着所数	7着所数	8着所数	9着所数	当所成績
深谷知広	通算193勝 愛知 24歳 S1	差	108.19	96期 先捲	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
武田豊樹	通算342勝 茨城 40歳 S1	差	118.50	88期 差	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
浅井康太	通算220勝 三重 30歳 S1	差	116.21	90期 自在	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
平原康多	通算235勝 埼玉 32歳 S1	差	117.47	87期 捲先	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
村上義弘	通算527勝 京都 40歳 S1	差	118.56	73期 自在	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
神山雄一郎	通算816勝 栃木 46歳 S1	差	117.24	73期 自在	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩津裕介	通算223勝 岡山 32歳 S1	差	117.02	87期 差捲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稲川　翔	通算184勝 大阪 29歳 S1	差	114.96	90期 自在	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
村上博幸	通算288勝 京都 35歳 S1	差	118.36	86期 差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ガールズグランプリ出場予定選手

（データは11/24現在）

選手名	年齢	期別（出身）	脚質	直近得点
小林　優香	20	106期（福岡）	先捲	57.81
石井　寛子	28	104期（東京）	捲先	56.95
加瀬加奈子	34	102期（新潟）	先捲	56.54
梶田　舞	27	104期（栃木）	捲先	55.91
山原さくら	22	104期（高知）	先捲	55.78
中川　諒子	30	102期（新潟）	先捲	55.59
中村由香里	33	102期（東京）	捲先	54.15

選考基準 期間：平成26年1月〜9月（9ヶ月）
❶ 運営調整部会が特に認めた選手
❷ 選考用賞金獲得額上位者

ガールズグランプリ2014

■2013年(H25.12.28) 立川
■2012年(H24.12.28) 京王閣

優勝	小林 莉子
中村 由香里	

第3回となるガールズグランプリ2014。

中心となるのは106期の大型ルーキー**小林優香**だ。逸材揃う106期の在校1位で5月に当所岸和田でデビューするや無傷の22連勝をマーク。11月24日現在で42走41勝V は14回と他を圧倒する快進撃を続けている。初出場のグランプリでも102期、104期の先輩達を力で圧倒し栄冠に輝くか。

打倒小林に燃えるのが104期の在校1位**石井寛子**だ。展開に応じて自在に動ける柔軟性を持ち、強烈なダッシュ力と的確な判断力を武器に総力を結集し初のグランプリV を狙うとともに9月前橋のガールズコレクションで小林に敗れた借りを返すべく雪辱に闘志を燃やす。石井に続く104期の在校2位、**山原さくら**。

小林 優香

石井 寛子

山原 さくら

加瀬 加奈子

梶田 舞

ヤンググランプリ2014

■2013年(H25.12.29) 立川
■2012年(H24.12.29) 京王閣
■2011年(H23.12.28) 平塚

優勝	2着	3着
猪俣康一	松岡篤哉	柴田竜史

岸和田グランプリシリーズ2日目に一発勝負で行われるヤンググランプリ2014。若手レーサーの登竜門とも言え次代を担う期待の逸材9名が激突する。

地元近畿地区からは**三谷竜生**、**野原雅也**が参戦。三谷はデビューから約7月でS級昇格を決め今年は全てのGI戦で全てのGIIIに出場共たなと本格化。自分は2度目の出場だし野原君も強いし彼がやる気なら前を任せようかとも思いますが、まだこれからじっくり考えます」と語る三谷、野原も103期のルーキーチャンピオンに輝いた超逸材。両者共に強力機動型だが近畿の絆の強さを考えると連係する可能性も高くどちらが前でも自慢の先行力でレースを支配しよう。

関東地区からは5名が出場。結束力の強さなら**吉澤純平**、**小原唯志**の同県、同期コンビにも負けない、共に武田豊樹を師匠に持つ両者だけに気心の知れた同門強敵な先行力が魅力で8月GIII富山、10月GIII熊本でも奮闘、仮に単騎となれば脚をタメての一発にかけるか。野原以外の8名が101期の同期対決となる今回の一戦、自熱したレースが繰り広げられそうだ。

三谷 竜生

吉澤 純平

小原 唯志

土屋 壮登

岸和田競輪を援護しつつ別線勢の反撃をけん制、続く神山雄一郎とワンツーライン で表彰台を独占する大活躍。持ち前のスピード、ダッシュは抜群で、これまでの武田との連係実績を考えるとV の可能性は大で、どちらが前でもレースを支配しそうだ。

武田、平原をアシストするのが稲村成浩。ただ衰えるを知らない差し脚と強い精神力で11GIII高松宮杯のV で記念最年長優勝記録を更新するなど気迫一杯、数々のGIタイトルを獲得しグランドスラムも達成した競輪界のレジェンドが残る唯一のタイトル、グランプリV へ向け全身全霊を傾けて戦い抜く。

近畿勢、関東勢に力で立ち向かうのが、**深谷知広**、**浅井康太**の中部コンビ。圧倒的な強さで7月GI寛仁親王牌を制した深谷だが、9月GIオールスターで落車し、その後の開催を欠場。このレースが復帰戦となりそうだが、昨年は果敢な先行でレースを盛り上げた深谷だけに万全の態に仕上げ先行台でスピードを活かしたレースに終始。2月GI全日本選抜、6月GI高松宮記念杯、7月GI寛仁親王牌、9月GIオールスター、11月GI競輪祭で決勝進出とグレード戦を盛り上げた立役者、強烈なスピードに加え番手戦もしっかりとなる浅井、2011年、2012年同様に深谷の前回りが濃厚だが、その時は2着続けて3着。昨年は2着との一歩で栄冠を逃しているだけに今年こそ総力を結集し表彰台の真ん中に立つか。

初の大舞台に向け最後迄グランプリ出場権争いで気迫を見せ続けた**岩津裕介**。圧巻は10月GIII防府決勝、一瞬の判断力を生かし空いたコースを突いてVを奪取、賞金ランクをアップさせグランプリの切符を手につかむ。昨年は地区から唯一の出場だけに本番では位置取りが注目されようが、混戦には強いタイプだけに期待を突いて初出場にして偉業達成のシーンも。

ヤンググランプリ出場予定選手

（データは11/24現在）

選手名	年齢	期別（出身）	班別	脚質	直近得点
三谷　竜生	27	101期（奈良）	S1	先捲	108.03
野原　雅也	20	103期（福井）	S2	先捲	106.42
吉澤　純平	29	101期（茨城）	S2	先捲	106.32
小原　唯志	31	101期（茨城）	S2	先捲	104.63
小岩　哲也	28	101期（大分）	S2	先捲	104.05
土屋　壮登	27	101期（埼玉）	S2	先捲	103.15
近藤　龍徳	23	101期（愛知）	S2	自在	102.95
金子　幸央	21	101期（栃木）	S2	先捲	101.79
坂本将太郎	21	101期（栃木）	S2	差	99.52

選考基準 期間：平成26年1月〜9月（第105回生は平成26年7月〜9月）
第101,103,105回生（KEIRINグランプリ有資格者は除く）
❶ 開催時S級在籍で、平均競走得点上位者 ❷ 残余は開催時A級在籍で、平均競走得点上位者